

新大学院カリキュラム(2010～)

○国際ゼミナールの単位化

⇒グローバルな感性の涵養

○基幹・基盤講義の新設

⇒広くしっかりと学ぶ

○科学哲学・科学倫理・安全教育の必修化

⇒社会の一員であることの意識啓発

○プロポーザルデフェンス

⇒課題設定能力の強化、

打たれ強く 柔軟な思考力・

発想力を培う

指導的分子科学
プランナーの育成

市大発・高校化学グランド コンテストの活用

高校生が自主的に行う研究の一貫指導(プログラム課題設定・実験・調査・結果の解釈とまとめ・プレゼンテーション)を担当することで、コミュニケーション力・説得力・リーダーシップを実体験を通じて養成する。

大阪市立大学建学の精神

「国立大学のコピーであってはならない」

Compact University の利点を最大限に活用

・複合先端研究機構・産学連携拠点とのタイアップ ⇒ 国際化、学際領域

・大学教育研究センター・国際センターと連携
⇒ キャリアパス・国際留学・交流支援

・文系部局との連携

⇒ 企業家精神、広い視野



企業視点の導入による社会人基礎力

・新産業創生センターの連携協力

市大OBを含む企業経験豊かな経験と実績を生かした事業への参加

(例) On the Job Training型研修

市大インキュベーター向け支援事業

(産業化・事業化・資金調達等のセミナー)



Basic Scienceを基盤とする将来構想とイノベーションの創出

(物質分子系専攻の特色)

超高強度光化学(外部資金2.6億超*)

分子スピン科学(外部資金1億円超*)

反応・物性化学
(外部資金3.1億円超*)

分子認識化学・金属錯体化学
(外部資金3.5億円超*)

*:最近10年間に現職教員が獲得した競争的研究資金

(専攻の特色を発展させたイノベーションの創出)

光技術の革新と応用に基づく
『ライフイノベーション』

分子スピンを活用した
『分子エレクトロニクス・情報イノベーション』

合成戦略・元素戦略・分子技術
に基づく
『グリーンイノベーション』

(複合先端研究機構)

蛋白質結晶構造科学
超高速分光科学

分野の垣根を越えた強固な連携組織
に再編(2010年度～)

化学人材育成を柱に据えた新大学院教育